

1. 難波丸井効果で南に活気、丸井の強さのポイントは靴売り場

難波の中央にオープンした丸井の影響で南全体の人出が多くなり周辺の商業施設も今のところ好調のようです。丸井の年間目標は170億ですが大幅にアップしそうな勢いです。同店の最大の強さはB1Fの雑貨、化粧品、1Fの大型の靴売り場です。靴売り場は自社の編集売場レッドシューズをはじめUAのオデットエオリアル、マスミ、ファースト、卑弥呼等の専門店を集約し、ヤングOLの靴売り場としては関西で最大規模と高感度の売り場で集客のポイントとなっているようです。靴と雑貨が強ければ強いほど必然的にファッションフロアにも好影響がでます。坪効ダントツのアプワイザーリッシュ、神戸発の人気店ブロンドラジェ等、総じてファッションテナントも補充が追いつかない程、絶好調です。靴売場の充実は世界的な傾向でこの秋の新宿伊勢丹の靴売り場の改装や、パリのプランタンのワンフロア全てを靴売り場に改装しています。難波地区は今後パークスの2期工事でますます激戦が予想されます。これからの商業施設は何を強化し、何で戦うかを明快にしなければ地域内戦争に勝てないことを丸井の難波店は示唆しています。好調の丸井ですがカフェが2箇所しかなく、しかも混んでいるので休憩したい時は外にいかなければならないのが課題です。

2. 「何と765000円～」 ジョンロブのオーダー靴の受注会

ー ラグジャリーも二極化 ー

UAの丸の内仲通りソブリンハウスであるロンドンのオーダーメイドのジョンロブの受注会が開催されます。フルオーダーで半年後に仮縫い、引渡しは1年後、価格は最低765000円です。通常レディースのジョンロブの価格は十数万円でそれでもラグジャリー感がありましたがジョンロブのフルオーダーは正にラグジャリーのなかでの二極化現象です。同店で開催されるサビルロウの老舗テーラーのオーダー受注会も予約が早くも入っているそうです。先週青山のベルリッティもオーダーの受注会で賑わっていました。靴にしてもスーツにしてもこの二極化現象はますます進みそうです。又、時計にいたっては雑誌の影響も大きく、フランクミュラーやブライトリング等の旗艦店のオープンも続き、デパートのワールドウォッチフェアが催事の目玉になるなどファッションの主役に躍り出た感があります。暫くラグジャリー時計ブームも続きそうです、それにしてもベンツより高額な時計をずらりとみると世の中どこかおかしいと思わざるを得ません。ラグジャリーの二極化は何処まで行くのでしょうか。

3. 中国社会の二大話題「小皇帝」と「億ション」

中国の沿海部5都市を駆け回ってきました。紹興、烏鎮、上海、無錫、杭州どこへ行っても「小皇帝」と「億ション」の話題にたどりつきます。

「小皇帝」は一人っ子政策により、家庭で一番偉いのは子どもで、次は共稼ぎの奥さん、旦那は召使といった笑い話が食事会のたびでることです。ところが調べて見るとその背景は中国の深く長い歴史と地球全体の「人口爆発」にたどりつきます。中国では統一国家がつく

られ生活の改善が図られると人工が急増し、生産とずれが生まれ飢餓と世直しを目的にした内戦によって「人口減少」がはじまる。このサイクルを止めようという政策なのです。

世界の人口も1900年に15億人だったのが現在65億人。100年で50億人増えているわけで「人口爆発」の最中にあります。一人っ子政策をあれこれ言う前に「少子高齢化社会」の日本の政策を心配した方が良いでしょう。

「億ション」はどの都市でも高級マンションブームで、150~200㎡で1億円~2億円のマンションが売り出されていることです。中国の勤労者の平均月収は1万5千元(8500円)ですから、一部とび抜けた高額所得者が相当数生まれていることはまちがいません。都市と農村の格差問題に取り組む中国の姿は旅行者には良く見えませんが、都市の高額所得者の購買意欲はすさまじいものです。

なにより庶民の暮らしの変化はめざましく、結婚式も花嫁はウエディングドレス、花婿は白のタキシードはすでに定着し、ゲストドレスが普及しはじめています。生産地中国から消費地中国にシフトする日本企業が増えているのは当然のことと言えます。

4. 利用客無視の JR 東海の対応は絶対おかしい

先日、御殿場まで用事があり横須賀から大船から東海道を乗り継ぎ国府津にて御殿場線で御殿場駅に到着し改札での異常な行列にびっくりしました。

スイカで改札も出られず、自動精算機でも JR 東日本からの精算は出来ないとの事でした。1人1人が改札口で現金を払い、後でスイカが使えるように降車証明書を貰いやつと改札を出ることが出来ます。今時、私鉄や地下鉄は相互乗り入れの路線はすべてパスネットで利用できるのにおかしな話です。行列のお客の中にはバスの時間に間に合わないとか、何故、精算機で精算できないのかと大ブーイングです。私も改札を出るのに15分以上もかかり対応のまずさにうんざりでした。民営化になり安全と時間の正確さを基本に利用客へのサービス向上をはかるのが JR と思っていたのですが、JR 東海と JR 東日本が利用客本位でサービスを考えれば相互乗り入れの精算など技術的には容易に解決できる事と思うのですが利用客無視もはなはだしい状況です。そこには何か権益だとか縄張りとかがあるのでしょうか。

5. 毎日でも通いたい“青山ぼこい”

青山の骨董通りを六本木通りにむかって下がって行き2つ目の信号を超えたところに店をオープンして35年。細い階段を2階にあがっていくとカウンターとテーブル席2席のちいさなお店の中から、大正生まれのおかみさん太宰寛子がいつも笑顔で迎えてくれる。メニューはまさしくおふくろの味そのもの。ポテトサラダにぎんなん、若鶏の立田揚げや旬の野菜の胡麻和えなど、どこの家にもありそうな定番メニュー。ただ味はどれをとっても絶品。ここで食事していると日本人に生まれて良かったとつくづく感じます。お店の人達も皆感じがよく店内はいつも一杯。帰り際に美味しかったですとおかみさんに言うと『それはあなた様が健康でいらっしゃるからですよ。それに感謝して下さい。』と返ってくる。そんな粋な一言が耳にとっても心地よい。ファッション業界の人も多くいつも知ってる顔に出会う場所。皆ほっとするひとときを求めてここに通っているのでしょう。よい素材の味を十分に生かしあっさり仕上げているので、これからの忘年会が続くシーズン胃が疲れた時にはぜひ立ち寄りた店です。 予算は1人4千円~。

港区南青山 5-13-2 池田ビル 2 階 03-3407-2031

営業時間: 6:00 pm-12:00(L/O 11pm) 定休日 : 日曜日/祭日